

## 第156回リニアドライブ技術委員会議事録

日時：平成29年10月6日(金) 15:00～17:00

場所：JR東海品川ビルA棟 中3会議室

出席者：委員長 水野（信州大）

副委員長 森下（工学院大）

委員 有賀（シンフォニア）、北野（JR東海）、樋口（長崎大）、矢野（JAXA）

幹事 矢島（SMC）

幹事補佐 鈴木（東京都市大）（記） (8名)

欠席者（委任）：伊藤（三菱電機）、古関（東京大）、田中（鉄道総研）、中川（東京都市大）、  
藤崎（豊田工大）、増澤（茨城大）、森實（大阪工大）、和多田（東京都市大）(8名)

### 提出資料

LD156\_01\_第154回LD技委議事録\_鈴木.pdf

LD156\_02\_第155回LD技委議事録案\_鈴木.pdf

LD156\_03\_LD委員会開催状況10月\_田中.pdf

LD156\_04\_LD平成30年度1次案\_田中.pdf

LD156\_05\_LD名簿10月\_田中.pdf

LD156\_06\_LD活動報告10月\_田中.pdf

LD156\_07\_LDカレンダー10月\_田中.pdf

LD156\_08\_2018全国大会と部門大会シンポジウム提案\_田中.pdf

LD156\_09\_MDD電気学会全国大会シンポジウム提案書提出版\_20170912\_矢野.xlsx

LD156\_10\_研究会開催企画シート（2018若手LD研）改\_矢島.pdf

LD156\_11\_回転機リニアドライブ\_家電民生合同研究会開催報告\_矢野.pdf

LD156\_12\_H29年電気学会産業応用部門大会シンポジウム開催報告書\_矢島.pdf

LD156\_13\_MDD（ネットワーク化）活動報告\_矢野.pdf

LD156\_14\_MEL（活用技術）活動報告\_矢島.pdf

LD156\_15\_MDD第2回MDD議事録\_矢野.pdf

LD156\_16\_第15回MEL委員会議事録案\_矢島.pdf

LD156\_17\_第3回MMA調査専門委員会議事録(案)\_藤崎.pdf

LD156\_18\_H29-B-11：部門積立金に関する申し合わせ（改定朱記青字）\_水野.pdf

LD156\_19\_H29-B-12：技術報告書発行遅延原因の件\_水野.pdf

LD156\_20\_H291005 回答 電気学会リニアドライブ技術委員会様あて\_第11回JEMEAシンポジウム協賛願い\_藤崎.pdf

### 議事

#### 1. 議事録確認

第155回委員会の議事録（LD156-02）について表記の一部を修正の上、承認された。

#### 2. 報告事項

行事予定・報告にてLDIA（9/6-8 大阪工大）の実施結果の報告があった。D部門大会（函館8/29～31）のMELの報告があった。産業応用フォーラム（MLV）について2018.3に実施する報告があった。全国大会（MDD）について2018.3/14～3/16に実施する報告があった。部門大会（MLV）について2018.8に実施予定の報告があった。MLVのICT調査専門委員会（上野委員長）の設置が承認された報告があった。

- 2.1 資料 156-19 をもとに、水野委員長から技術報告書の遅延理由について、①一字一句の校正、②引用掲載許諾（孫引き）、③PDF 変換でのずれ、④PDF 原稿ファイル Ver.が説明された。①について著者に戻っているのか、IEEE のように初版、改訂版と早期提供はできないのかななどの意見があった。
- 2.2 資料 156-18 をもとに、水野委員長から部門積立金について説明があった。国際委員会活動費について国際会議収支×0.8 とする説明があった。また、SEAD30 についての活動費は、どこに該当するか確認する必要がある説明があった。
- 2.3 資料 156-03 をもとに、水野委員長から LD 技委の活動報告の説明があった。
- 2.4 資料 156-04 をもとに、水野委員長から平成 30 年度 1 次案の説明があった。
1. 当年度活動計画及び実績について、1.1 研究会では、H29.7/6-7 の TER 合同研究会は合同でなくともよいのでは意見があった、H29.12/7-8 の MAG, MD 合同研究会は湯布院で 21 件との説明があった。1.2 技術会合は確認することとした。
  2. 次年度活動予定について、2.1 研究会では、6 月 LD 研究会（SEAD30 のため）、7 月 LD 研究会の代替案が必要である説明があった。他の研究会は、8 月は RM/HCA/LD 合同（MDD 窓口）、12 月は MLV 担当、H31.1 月は MEL 担当で調整することとした。また、MMA については藤崎委員に確認後とした。2.2 技術会合については、産業応用部門大会に MLV を追記する。
  3. 国際活動計画及び実績および 5. 特記事項については記載の通りとした。
  4. 論文関係については、4.1 部門誌特集号計画について藤崎委員および D 部門論文員会に確認することとした。4.2 注目論文については更新日を確認することとした。
- 2.5 資料 156-05、156-07 をもとに、矢島幹事から名簿について大橋委員から上野委員に入れ替える説明があり、カレンダーについて記載するよう依頼があった。
- 2.6 資料 156-08～156-10 をもとに、矢島幹事から全国大会、シンポジウムおよび LD 研究会の確認があった。LD 研究会（2/1-2 大阪工大）は、若手の発表を目的としており各大学より 2 名ずつ参加の依頼があった。
- 2.7 資料 156-11 をもとに、矢野委員より RM/HCA/LD 合同研究会（8/8-9）の報告があった。
- 2.8 資料 156-12 をもとに、矢島幹事から産業応用部門大会 MEL シンポジウム（函館 8/29-31）の報告があった。

### 3. 審議事項

- 3.1 資料 156-20 をもとに、藤崎委員（矢島幹事代読）より第 11 回日本電磁波エネルギー応用学会シンポジウムの協賛依頼について、LD 技委が協賛する提案があり承認された。
- 3.2 樋口委員より LDIA の国際委員会（I S C）委員を樋口委員から森下副委員長に交代し、これに伴い LDIA から出ている D 部門の国際委員会委員も来年度から樋口委員から森下副委員長に交代し、また、LDIA の国際委員は、北野委員から後任として鈴木幹事補佐とする提案があり承認された。

### 4. 各調査専門委員会活動報告

- 4.1 資料 156-13 をもとに、矢野委員より MDD の活動報告があった。
- 4.2 資料 156-14 をもとに、矢島幹事より MEL の活動報告があった。
- 4.3 資料 156-16 をもとに、矢島幹事より MEL 議事録の説明があった。
- 4.4 資料 156-15 をもとに、矢野委員より MDD 議事録の説明があった。
- 4.5 資料 156-17 をもとに、藤崎委員（矢島幹事代読）より MMA 議事録の説明があった。

次回（第 157 回）開催予定：2017 年 12 月 1 日（金）15：00～17：30 JR 東海品川ビル A 棟会議室

以上